

雑誌の魅力、再発見
春
マガジン
フェスタ
2024

OPTION 2024年6月号(毎月26日発売)4月25日発売
第44巻第6号 通巻569号

Zに恋い焦がれて55年 フェアレディZ 夢中



06

Jun. 2024

- Zマニアのこだわりにも密着
- L型ツインカムヘッドに注目
- VGエンジンチューンの今
- フェアレディZと最高速
- RZ34チューニング最前線
- Z in the USA!!

特別付録小冊子

COCKPIT MAKE

インテリアチューン
基礎講座



COCKPIT MAKE

インテリアチューン基礎講座



高水準に仕上げられた
フルバケのスタンダードモデル



こんなユーザーにオススメ

- 優れたホールド性を手に入れたい
- ストリートもサーキットも楽しみたい

ZETA IV

【ジータ・フォー】

12万8700円～19万8000円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
- シェル素材(FRP製シルバー/カーボン)
- シートバックプロテクター別売(6600円)
- 重量:約7.4kg

本人の体格や骨格にフィットするシェルデザインで、ホールド性、快適性、軽さ、剛性などスポーツシートに要求される要素を突き詰め、車種や走行ステージを問わない懐深さが魅力のジータIV。背中や肩まわりのフィット感を高めた縦スリット入りの背面クッションと、

フルバケットシート

リクライニング機構を備えない一体構造により、ホールド性だけでなく剛性や強度、安全性までも高めたスポーツシートがフルバケットシートだ。安定したドライビングはスポーツ走行での頼もしさだけでなく、長時間ドライブの快適性も引き出していく。



ジータIV
ヴェリオ

ジータIV
ヴェリア

スリムで小柄なドライバーには、「ジータIVヴェリオ」と「ジータIVヴェリア」がオススメ。ジータIVをベースにサイド部のクッションウレタンを約30mm厚くしてフィット感の向上、座面底部シェルには接着、座面クッション内部は取り外し可能なそれぞれ約15mmのウレタンを追加した座面アップのチューニングを施す。

身体に密着する座面クッションで支えられるドライビングポジションは、スポーツ走行時に確かな走りを約束するだけでなく、長時間ドライブでも疲れにくい快適性まで誇っている。サーキットだけでなくストリートも楽しむユーザーなら、ジータIVを選べば間違いはない。

スタイリッシュなデザインで
乗降性に優れたローポジを実現

A.i.R.

【エア-】

14万9600円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全2色(ブラック/レッド)
- シェル素材(FRP製シルバー)
- 重量:約6.8kg

※2シーター専用モデルのためシートバックプロテクターの設定なし



こんなユーザーにオススメ

- 室内が狭い2シーターで低く座りたい
- 乗降性に優れたフルバケが欲しい

長身のユーザーにとって悩ましいヘッドクリアランス問題を解消するバケットシートが、卵形の大きな凸部形状に仕上げた座面でローポジション化を図るエア-だ。S660やロードスターなどの2シーター専用モデルとして生み出されたモデルとなるために、シートバック

プロテクターを設定していないが、2名乗車仕様なら保安基準適合で装着することが可能。乗降性に配慮してスラントさせたサイドサポート形状で、空気の流れをイメージしたストリームデザインがインテリアに放つスタイリッシュさも魅力となっている。

視認性も確保した中型ヘッドガードで
ドライバーの安全性を確保

XERO CS

【ゼロ・シーエス】

13万2000円～20万1300円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全2色(グラデーションロゴ/ブラック)
- シェル素材(FRP製シルバー/スーパーアラミド製ブラック)
- シートバックプロテクター別売(8470円)
- 重量:約8kg



こんなユーザーにオススメ

- モータースポーツを積極的に楽しみたい
- 背筋(背骨)を伸ばした姿勢で座りたい

全身を包み込むようなシェルデザインでシート剛性とホールド性を高めるだけでなく、HANSではカバーできない横方向の衝撃から頭部を守るとともに、横Gに対してのホールド性も高めたヘッドガードを添えるゼロシリーズ。中型ヘッドガードを採用したCSは、頭部を守りな

がら視認性も確保した、ストリートでも使用可能な保安基準適合モデル。尚、S字形状のバックレストにより背筋(背骨)を伸ばした姿勢となるため、他のフルバケットシートと比べてアイポイントは高い状態になる。

ストラディアⅢに
スモールチューニングモデルが登場

9月30日までの期間限定受注生産モデルとして、優れたホールド性と使い勝手をバランスさせたストラディアⅢに、細身・小柄なドライバーに向けたスモールチューニングモデルの「エボS」が登場。アウトラインを強調するブラック&レッドのスペシャルカラーに加えて、背面シェルはシートバックプロテクターなしで保安基準適合となるハーフカバーモデルに仕上げられている。



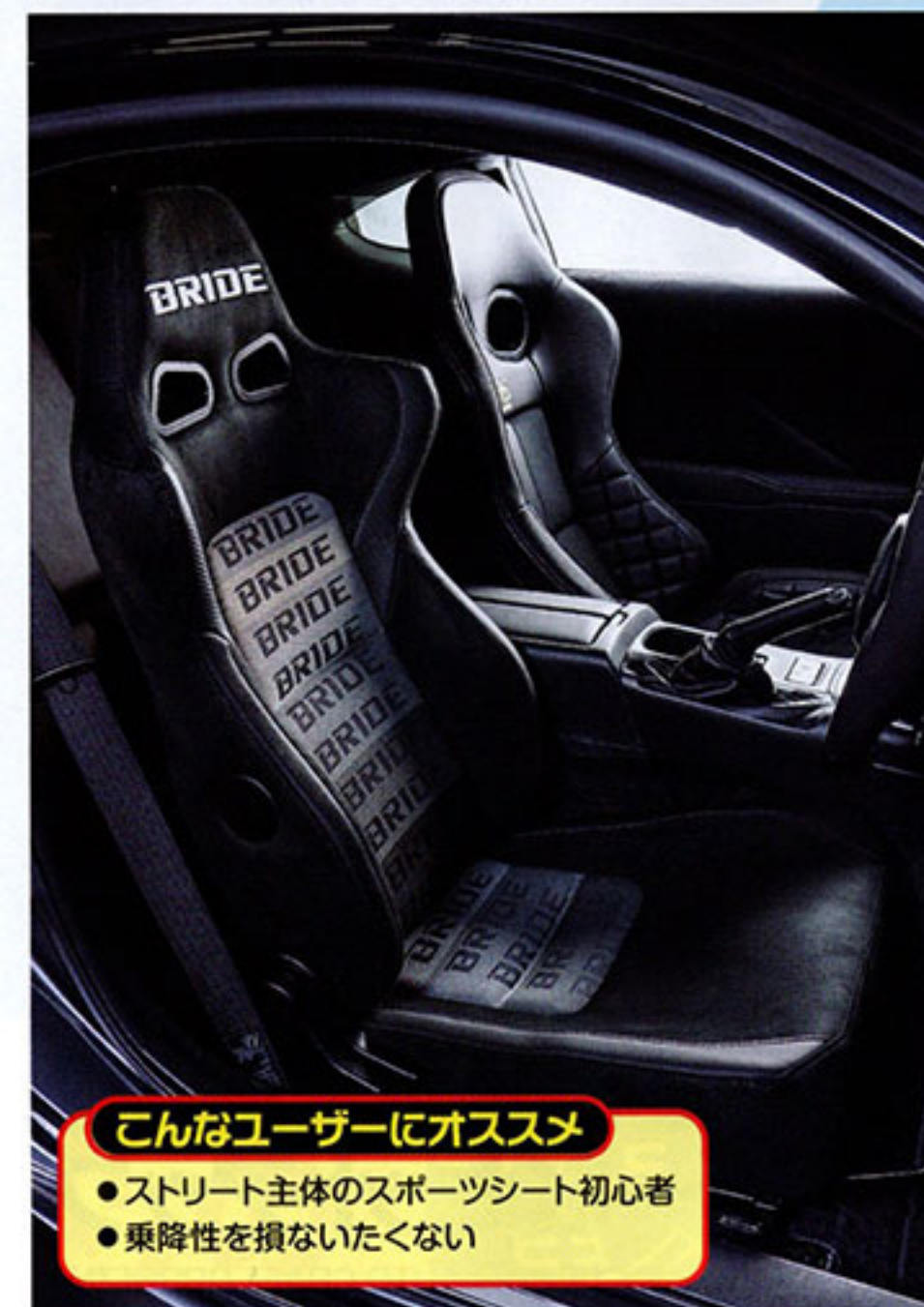
ストリートにウエイトを置くリクライニングシートはもちろん、スポーツ走行にウエイトを置いたフルバケットシートに関しても、ブリッドでは素材やカラーバリエーションを豊富に揃えている。運転席にはホールド性を重視したフルバケットシート、助手席は快適性を重視したリクライニングシート...といったコーデでも、オリジナリティを打ち出しながら統一感のあるインテリアへと仕上げやすい。

スポーツシート by BRIDE の選び方

横Gを受けた際にも身体がしっかりとホールドされるバケット形状によって、スポーツ走行時に安定したドライビングを可能にするのがスポーツシートだ。そこで、フルバケットタイプ、リクライニングタイプともに、多彩なスポーツシートを揃えるブリッドが誇る充実のラインアップから、おすすめのモデルをクローズアップしよう。

セミバケットシートとも呼ばれ、純正と同じリクライニング機構を備えつつ、ホールド性を高めたスポーツタイプのシート。快適性や乗降性も求めるストリートユーザー、バックレストを前倒しにしてリヤシートにアクセスしたい2ドア車のオーナーにオススメ。

リクライニングシート



こんなユーザーにオススメ

- ストリート主体のスポーツシート初心者
- 乗降性を損ないたくない



全幅を抑えるためにショルダー幅は500mmで仕上げられているが、サイドサポートと合わせて上半身のホールド性は上々。エッジの効いたデザインやショルダー部にあしらわれたカーボン調レザーにより、スポーツシートらしい精悍さが楽しめる。

レーシングハーネスのベルトホルダーやエッジの効いたショルダーサポート形状で、スポーツシートらしい精悍なルックスを押し出しつつ、フラット気味の座面が与えられたエルゴスター。ワンタッチでバックレストの前倒しやリクライニングの角度調整が可能なスーパーリクライナー、優れた乗降性を発揮する座面形状により、純正シートと変わらない使い勝手で上半身のホールド性を高めるコンフォートスポーツモデルだ。また、他モデルに比べてシート幅が抑えられたコンパクトデザインなので、ショルダーとピラーのクリアランスが気になるタイトな車両でも安心してマッチング可能なとなっている。

乗降性など使い勝手はそのままに
上半身のホールド性をキープ

ERGOSTER

【エルゴスター】

14万8500円～17万8200円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全4色(グラデーションロゴBE/ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE)
- シートヒーター搭載モデルあり(12V)
- アームレスト別売(右用、左用各9900円)
- 重量:約14.8kg



フラット気味の座面は面圧を均等に分散する一体構造のクッションで体圧の分散を図り、優れた乗降性だけでなくドライブ時の疲労も軽減。また、乗降時に擦れやすいサイド&ニーサポートに耐久性に優れたPVCレザーを与えている。

サーキットでも頼もしい
リクライニングスポーツ

STRADIA Ⅲ

【ストラディア・スリー】

23万1000円～29万9200円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全3色(グラデーションロゴ/ブラック/レッド)
- シェル素材(FRP製シルバー/カーボン)
- クッション(スタンダード/ロー)
- シートバックプロテクター別売(6600円)
- 重量:約14kg

こんなユーザーにオススメ

- フルバケットに迫るホールド性が欲しい
- 6点式レーシングハーネスを使いたい



ストラディアⅢのバックシェルデザインを踏襲し、高剛性・高強度なモノコック構造へ発展させたボディシェルに、バックラッシュやガタを極限まで抑えたリクライニング機構を融合。リクライニングシートの常識を覆すホールド性や、剛性と強度を誇るのがストラディアⅢだ。ホールド性を突き詰めた兄弟モデルの

「ガイアスⅢ」よりもサイドサポートが乗降性に配慮した形状となっているため、ストリートユースでの使い勝手も上々。HANSなどFHRシステムに対応した大型ベルトホール、6点式レーシングハーネス対応の座面ベルトホールといった、サーキットを攻める本気のユーザーに応える作り込みも見逃せない。

ロングセラーを誇る
コンフォートスポーツシート

EUROSTER II CRUZ

【ユーロスター・ツー・クルーズ】

14万800円～17万500円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 全4色(グラデーションロゴBE/ブラックBE/チャコールグレーBE/レッドBE)
- シートヒーター搭載モデルあり(12V)
- アームレスト別売(右用、左用各9900円)
- 重量:約14.8kg

こんなユーザーにオススメ

- 気持ちよくスポーツドライビングを楽しみたい
- 快適性とホールド性をバランスよく両立したい



ドライバーの身体を優しく包み込むニューエルゴノミクスデザイン、面圧の均等化を図る高密度ウレタンフォームによって、スポーツドライビングが楽しくなるホールド性と、ロングドライブ時の疲れにくさを引き出したユーロスターⅡクルーズ。乗降性や使い勝手は純正シートから大きく変わることなく、スポー

ツシートならではのカッコ良さや優れたホールド性が手に入れられるため、多彩なモデルを揃えたブリッドのリクライニングシートの中でもロングセラーを誇る。カモフラージュデザインのユーロゴースト、土屋圭市スペシャルエディションのユーロスターⅡキングといった派生モデルも要チェックだ。



edirb 0A1 NC

28万1600円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 西陣カーボンシエル
(表皮: プロテインレザー/ウルトラスエード/ピガプリモ)
- 重量: 約7.8kg

シートIVをベースとする「edirb 0A1」のNCモデル。また、ラウンド形状による猫背姿勢でアイポイントを下げるシートIVがベースの「edirb0B1」にもNCを設定。両モデルともにリヤシートを備えた車両でも、そのまま保安基準適合となる背面カバーが採用されている。



密度が高すぎると曲面に対する逃げが得られず、密度が低すぎれば平面で模様が崩れてしまう繊細な「NISHIJIN CARBON」。伝統工芸の匠であるフクオカ機業のノウハウで密度やカーボン糸の太さが最適化され、その先進素材をブリッドが繊細な断しとは思えないほど美しくシエルに貼り込んだ。



edirb 161 NC / 162 NC

39万4900円

- 着座センサー搭載(座面部)
- 161: スタンダードクッション
162: ロッククッション
- 西陣カーボンシエル
(表皮: プロテインレザー/ウルトラスエード/ピガプリモ)
- 重量: 約14.4kg

リクライニングシートのガイアスIIIをベースとする「edirb 161 / 162」に仲間入りしたNCモデル。乗降性を高めたいユーザーに向けては、ストラディアIIIがベースの「edirb 171 / 172」にもNCを設定する。



プレミアムシートをさらなる高みへ カーボン×西陣織の立体的機能美

edirb NC MODELS

ブリッドの誇るスポーツシートに高級レザーソファのような風合いと滑らかな肌触り、そして優れた吸放湿性を持つプロテインレザーをあしらった、インテリアの魅せ場を引き出すプレミアムブランドがエディルブだ。質感の高いインテリアが採用される欧州車ユーザーを筆頭に、アダルトスポーツカー1台を目指すハイエンドユーザーから広く支持を集めている。

さて、そんなエディルブに新たなハイエンドシリーズとして加わったのが、日本の伝統工芸である西陣織の技法で織りあげるカーボン素材「NISHIJIN CARBON」採用のNCモデルだ。積極的に新技術導入を図るフクオカ機業が西陣織の伝統的な織技法と融合させて誕生

した「NISHIJIN CARBON」の存在を知ったブリッドが、エディルブに新たな機能美をもたらすために取り組んだアップグレードとなる。「ブリッドとエディルブともにアラミド繊維を使用したスパーアラミドシエルは、バケットシートの破断強度を高めるため、部分裁断を行わず一枚物の一体成形で仕上げられています。そうした手法で「NISHIJIN CARBON」の美しい織り目を崩すことなく仕上げるのは未知への挑戦でしたが、織りの密度やカーボン繊維の太さなどフクオカ機業の協力もあって量産化に成功しました」とは製造部長の大田さん。

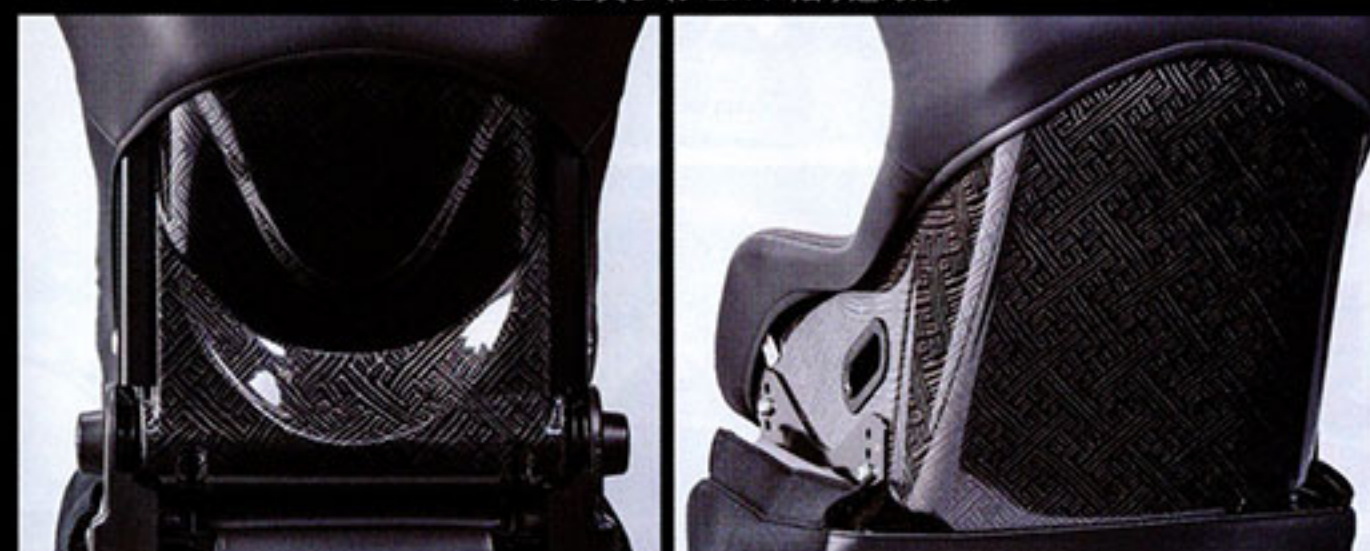
edirbとは…

プレミアムな装いで魅せる ワンランク上のスポーツシート

エディルブはブリッドが誇るスポーツシートをベースに、プロテインレザーやウルトラスエード、ピガプリモといった上質なあしらいを施したプレミアムブランドだ。もともとインテリアの質感が高い欧州車やハイエンド志向のユーザーに向けて立ち上げられたが、近年の国産スポーツカーは内装にレザーやスエードがあしらわれるケースも多く、シート交換後の統一感を引き出すためエディルブへ注目するユーザーも増えている。



メイン生地には優れた吸放湿性で不快な蒸れを軽減しつつ、上質な風合いと肌触りが特徴のプロテインレザーを使用。背もたれや座面には質感に優れたウルトラスエード、乗降時に擦れやすいサポート部には動物由来のものを問わずに本革構造を再現したヴィーガンレザーのピガプリモをあしらって耐久性と気品を引き上げている。



日本の伝統工芸である西陣織と現代素材であるカーボン繊維が融合した「NISHIJIN CARBON」。糸や織り方によって多彩な模様を表現していく西陣織ゆえに、その表現力は無限大だ。

正面と背面のベルトホール下部にはゴールドで「edirb」と「NISHIJIN CARBON」のロゴを刺繍。プロテインレザー/ウルトラスエード/ピガプリモのあしらいはそのままに、スタンダードモデルとは一線を画すアクセントを加えている。